

神奈川県立青葉総合高等学校グランドデザイン

スクール・ミッション

- 全日制の課程単位制総合学科クリエイティブスクールの高校として、共通教科及び専門教科にわたる多様な科目の中から生徒が主体的に履修したい科目を選択でき、生徒の興味・関心や進路希望等に応じた学習を可能にするという総合学科の特質を生かし、「系列」に応じた系統性のある学習を確保することで、生徒一人ひとりの学習や進路等の目標の実現に応えるよう、学びに向かう力を育むとともに、学力の育成、豊かな人間性や社会性の涵養、社会的・職業的な自立等をめざした教育課程を適切に編成する。
- 社会の一員として自己の未来を創造することができる人材の育成をめざし、学び直しを通じてわかることが実感できる学びを提供し、一人ひとりの進路希望の実現に向けた指導ときめ細かな支援に取り組む。
- 生徒一人ひとりが主体的に進路を開拓することができるよう、学び直しを含めた生徒の基礎的・基本的な知識・技能の習得と、新たな可能性との出会いをめざした学習機会の確保など、教育活動の充実に取り組む。

学校教育目標

- 生徒の個性を踏まえたきめ細やかな支援によって、自己有用感や自己肯定感を醸成するとともに、社会的・職業的に自立することができる生徒を育てる。
- 多様性を認め他者を大切に思いやりの心と、共に手を携えて生きていくために必要なコミュニケーション能力を備えた生徒を育てる。
- 体験的・実践的な活動とおして、生徒一人ひとりの能力を発揮させることによって「わかる楽しさ」や「できる喜び」を実感し、主体的に学びに向かう態度と基礎学力を持った生徒を育てる。
- 地域との連携とおしてコミュニティの一員である自覚を持ち、将来職業的に自立し、社会に積極的に寄与する人間性や社会性を備えた生徒を育てる。

グラデュエーション・ポリシー

- 自らの進路等の目標を実現させるために、学ぶことの楽しさや大切さを実感し、生涯にわたって学び続けようとする「学びに向かう力」を育みます。
- 社会的・職業的に自立し、よりよい社会を創る者として必要な学力、豊かな人間性、社会性を育みます。
- 自らの個性を自認するとともに、異なる価値観を理解し、多様性を認め、他者を大切に思いやりの心と、共に手を携えて生きていくために必要なコミュニケーション能力を養います。

アドミッション・ポリシー

- 中学校までに持てる力を十分に発揮することができなかったけれど、「高校に入学したら学び直したい」という意欲のある生徒。
- 総合学科の特徴を理解し、その仕組みを生かして学ぶ意欲のある生徒。
- 「協働的な学び」「探究的な学び」をおして、他者との協働により自分を見つめ直し、将来より良い社会を創ることに意欲のある生徒。

カリキュラム・ポリシー

- 学び直しを含め、生徒の基礎的・基本的な知識・技能の確実な習得をめざします。
- 生徒一人ひとりが主体的に進路を開拓できるように、「系列」に応じた様々な選択科目を設置し、新たな可能性との出会いをめざした学習機会を提供します。
- 少人数授業を生かし、生徒一人ひとりの特性や実情に合わせ、ICT機器を効果的に用いながら指導の個別化と学習の個性化を進めます。
- これからの時代に求められる課題解決力を育成するために、授業では各教科を横断した内容を展開し、「対話」を軸とした探究的な学びを深めます。
- 「産業社会と人間」「総合的な探究の時間」を中心に、スクールキャリアカウンセラーとの協働や様々な外部機関との連携により、様々な探究活動・キャリア教育を推進し、生徒の進路実現を後押しします。

	教育課程・学習指導	生徒指導・支援	進路指導・支援	地域との協働	学校管理・学校運営
目標	<ul style="list-style-type: none"> ①基礎学力の育成を軸に社会的自立をめざしてガイダンス科目等の工夫・改善に取り組むとともに、個別最適化学びと協働的・探究的な学びの実現に向けた授業改善を進める。 ②インクルーシブな学校づくりを推進するため、学校行事等を通じ、生徒の自己有用感を醸成するとともに共生社会の一員として主体的に行動できる生徒を育てる。 	<ul style="list-style-type: none"> ①学び直しの観点から3年後に社会に出て活躍できる生徒の育成を目指し、生徒が自らを律する力を高める。また、一人ひとりの生徒理解に努め、専門職や他機関と連携した支援を組織的に進める。 ②部活動や生徒会活動等における充実を図り、生徒の主体的・自発的な活動に向けた支援を継続的に進める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①生徒一人ひとりが持つ可能性を広げるため、希望や適性を把握し、3年間を通じた探究的な活動を通じてSCCや外部機関と連携した組織的かつ継続的な進路指導・支援の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域の豊富な社会資源との連携を深め、地域から信頼される学校づくりを進めるとともに、生徒による主体的な地域貢献活動及び地域への積極的な広報活動の充実を図る。 	<ul style="list-style-type: none"> ①将来にわたって、社会的な役割と責任を果たすことができる「持続可能な学校」づくりに取り組む。 ②不祥事・事故防止の徹底を図る。
主な方策	<ul style="list-style-type: none"> ①電子黒板やICTを活用した授業改善と小テスト振り返りの復讐により、基礎学力の確実な定着と個別最適・協働的な学びを推進する。 ②指導と評価の一体化を図り、探究活動や学校行事の充実を通じて、生徒の主体性・協働性を育成し学びの質を高める。 	<ul style="list-style-type: none"> ①年次・グループで情報共有を徹底し、面談や日常の観察を通じた早期把握・早期対応により、生徒の安全・安心な学校生活を支える。 ②保護者・外部機関と連携した支援体制を構築し、部活動や生徒会活動の充実を通じて、生徒の主体性と自己管理能力を育成する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①総合的な探究の時間や進路行事を体系化し、キャリア支援センターを中核に外部機関と連携するとともに、面談・データ共有を通じた個別最適な支援を充実させ、生徒の主体的な進路選択を促進する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①地域・企業・NPO等との連携を強化し、社会資源を活用した探究・地域貢献活動を推進するとともに、教育活動の発信を通じて地域との双方向の関係を構築し、持続的な協働体制を確立する。 	<ul style="list-style-type: none"> ①ICTの活用による業務の効率化とグループ間の連携強化を図り、教職員が生徒と向き合う時間を確保するとともに、組織的で持続可能な学校運営を推進する。 ②不祥事防止研修や情報共有の徹底により、リスクマネジメントを強化し、安全・安心な教育環境の維持と教職員の服務規律の確保を図る。